

日本語の系統とその遺伝子的背景 < 配付資料 >

松本克己

表 1 類型地理論的考察から導かれたユーラシア諸言語の系統分類

系 統 関 係		所属語族・言語群	共有特徴
ユーラシア内陸言語圏	中 央 群	セム語族(アフロ・アジアB) インド・ヨーロッパ語族 ウラル語族 チュルク語族 モンゴル語族 ツングース語族 [ドラヴィダ語族]	複式流音 体言型形容詞 義務的数カテゴリー 単項型人称標示 対格型格標示 名詞類別* 重複欠如* 包括人称欠如*
	残 存 群	カフカス諸語 シュメール語その他古代オリエント諸語 バスク語, ケット語, ブルシャスキー語 チュクチ・カムチャツカ語族 エスキモー・アリュート語族	多項型人称標示 能格型格標示 複式/単式流音 体言型/用言型形容詞
	周辺境界群	チベット・ビルマ語族 漢 語(中国語)	単式流音
太平洋沿岸言語圏	南 方 群 (オーストリック 大語族)	ミャオ・ヤオ語族 タイ・カダイ語族 オーストロアジア語族 オーストロネシア語族	用言型形容詞 数カテゴリー欠如 名詞類別欠如 数詞類別
	北 方 群 (環日本海諸語)	朝 鮮 語 日 本 語 アイヌ語 ギリヤーク(別名ニヴフ)語	重複形態法 多項型人称標示* 中立型格標示* 包括人称*

【注】: 共有特徴の中で*印付きは同じ言語群の内部で部分的に不一致を見せる特徴

“言語の遠い親族関係”を探るために選び出された類型特徴

1. 流音のタイプ: 複式流音型 ~ 単式流音型 ~ 流音欠如型
2. 形容詞のタイプ: 形容詞体言型 ~ 形容詞用言型
3. 名詞の数カテゴリー: 義務的数カテゴリー型 ~ 数カテゴリー欠如型
4. 名詞の類別タイプ: 名詞類別型 ~ 数詞類別型
5. 造語法的手段としての重複: 重複多用型 ~ 重複欠如型
6. 動詞の人称標示: 多項型 ~ 単項型 ~ 欠如型
7. 名詞の格標示: 対格型 ~ 能格型 ~ 中立型
8. 1人称複数数の包含・除外の区別(包括人称): 区別型 ~ 欠如型

類型地理論から導かれた日本語系統論の骨子

1. 日本語は、朝鮮語・アイヌ語・ギリヤーク語と共に「環日本海諸語」の一員として位置づけられる。
2. 環日本海諸語は「太平洋沿岸言語圏」の北方群を構成し、これはさらにその分布をアメリカ大陸の太平洋沿岸部まで拡げて、ここに「環太平洋言語圏」と呼ばれるような一大言語圏を形成する。
3. 漢語は、チベット・ビルマ系言語と太平洋沿岸系言語との接触によって生じた一種の混合語と見られる。
4. “ウラル・アルタイ系”諸言語は「ユーラシア内陸言語圏」に属し、日本語とは系統を異にする。

表 2 類型の特徴の地域・語族的分布
アフリカ・ユーラシア・オセアニア

地域	語族・言語群 ・孤立言語	流音 タイプ	形容詞 タイプ	数の 範疇	名詞 類別	数詞 類別	重複	動詞の 人称標示	名詞の 格標示	包含 除外			
ア フ リ カ	コイ・サン / 中央 コイ・サン / 南・北 ナイル・サハラ	欠・単 欠・単 複式	用言型 用言型 体・用	+	+	-	+	多(分離)・無 無標示 単(多)	中立A 中立B 対・中	+	±	±	
	ニジェール・コンゴ / 西 ニジェール・コンゴ / 東南 アフロ・アジアA	単・複 単・欠 複式	用言型 用言型 体言型	±	±	-	+	無・多(分離) 多項型(分離) 単項型	中立B 中立B 対格型	±	-	±	
		ユ ー ラ シ ア	複式 複式 単式? 複式	体言型 体言型 体言型? 体言型?	+	+	-	-	単項型 多項型(分離) 多項型(分離) 多項型?	対格型 能格型 中立A 能格型	-	-	-
シ ア	ブルシャスキー語 ドラヴィダ	複式 複式	体言型 体言型	+	+	-	+	多項型(分離) 単項型	能格型 対格型	-	+	+	
	北東カフカス 北西カフカス	複式 複式	体言型? 用言型?	+	±	-	-	無標示 多項型(分離)	能格型 中立A	+	±	±	
内 陸 言 語 圏	南カフカス	複式	体言型	+	-	-	-	多項型(分離)	能格型	±	±	±	
	インド・ヨーロッパ ウラル[・ユカギール]	複式	体言型	+	+	-	-	単項型	対格型	-	-	-	
	チュルク	複式	体[用]	+	-	-	-	単(多)	対格型	-	-	-	
	モンゴル	複式	体言型	+	-	-	-	単項型	対格型	-	-	-	
	ツングース	複式	体言型	+	-	-	-	単項(無)	対格型	+	+	+	
	チュクチカムチャツカ	複式	用言型?	±	-	-	-	単項(無)	対格型	+	+	+	
	太 平 洋 沿 岸 言 語 圏	チベット・ビルマ / 西 チベット・ビルマ / 東	複式 単式	体言型 用言型?	+	-	±	-	無・多(一体) 無標示	能・中 中立A	±	±	±
		漢語	単式	用言型	-	-	+	+	無標示	中立B	±	±	±
	大 洋 州	タイ・カダイ	単式	用言型	-	-	+	+	無標示	中立B	+	+	+
		ミャオ・ヤオ	単式	用言型	-	-	+	+	無標示	中立B	+	+	+
オーストロアジア		単・複	用言型	-	-	+	+	無・多(分離)	中立B	+	+	+	
オーストロネシア		単・複	用言型	-	-	±	+	無・多(分離)	中对能	+	+	+	
朝鮮語		単式	用言型	-	-	+	+	無標示	対格型	-	-	-	
日本語		単式	用言型	-	-	+	+	無標示	対格型	±	±	±	
アイヌ語		単式	用言型	-	-	+	+	多項型(分離)	中立A	+	+	+	
ギリヤ・ク語	単式	用言型	-	-	+	+	多項型?	中立A	+	+	+		
大 洋 州	パプア諸語	単・欠	用・体	±	±	-	±	多項型(分離)	能・中	±	±	±	
	オーストラリア諸語	複式	体言型	±	±	-	+	多(分離)・無	能格型	+	+	+	

【注】語族・言語名の欄の横罫線は表5の6つの人称代名詞タイプの区分に該当する。

(参照: 松本 2007 『世界言語のなかの日本語: 日本語系統論の新たな地平』)

表3 人称代名詞から探る環太平洋言語圏の輪郭

	大語群		言語・語群名	人称代名詞の特徴			
				1人称	2人称	包括人称	
環太平洋言語圏	ユーラシア	オーストロ・ミャオ群	ムンダ語群	n-	m-	A型 (b-/w-)	
			モンクメール南東群	n-	m-		
			モンクメール北西群 ミャオ・ヤオ語群	k- k-	m-[/k-]		
		オーストロ・タイ群	タイ・カダイ語群	k-	m-	B型 (t-/d-)	
			台湾高砂語群 西部オーストロネシア群	k- k-	s- m-/k-		
			東部オセアニア群	n-/k-	m-/k-		
	環日本海群	日本語 朝鮮語 アイヌ語 ギリヤーク語	日本語	[n-]/k-	m-/n-	A型	
			朝鮮語	n-	n-	B型	
			アイヌ語 ギリヤーク語	n-/k- n-[/k-?]	e[n]- t-		
	アメリカ太平洋語群	北米沿岸群	ペヌーティ語群 ホカ語群	n-[/k-] n-/k-	m- m-	B型?	
			ユート・アステカ語群	n-	m-[/t-]	B型	
			中米群	ミヘ・ソケ語群 マヤ語群	n- n-/k-		m- k-/t-
		北部アンデス群	チブチャ語群 アラワク語群 トゥカノ語群	チブチャ語群	n-	m-	?
				アラワク語群	n-	m-	A型
				トゥカノ語群	n-	m-	
南部アンデス群				パノ・タカナ語群 ハキ・アイマラ語群 アラウカノ語群その他	n- n- n-	m- m- m-	? ? ?

表4 ユーラシア太平洋沿岸諸語の人称代名詞

	言語名	1人称単数	2人称単数	包括 // 1複	2人称複数
太平洋沿岸南方群	ムンダリ語	añ	am	abu//ale	ape
	スティエン語	?añ	may	bən //hej	/
	カトゥ語	ku	mai	hɛ// yi	pe
	川黔滇苗語	ko/wɛ	mi/kau	pe	me
	西双タイ語	kau	mai	hau//tu	su
	セデック語	yakku/ku	issu/su	ita/ta//yami	imu
	タガログ語	aku/ku	ikau/mu	tayu/ta//kamin	kayu
ピナ語	nau/a-	moni/o-	ita/ta-//nai/a-	umui/o-	
環日本海諸語	上代日本語	a-/na-/(ore)	[i]masi/na-/ore	wa[re]	/
	中期朝鮮語	na	nə	uri	nə-hiy
	アイヌ語 ギリヤーク語	ku-/en- ñi	e- ci	a-/i-//ci-/un- megl//ñuŋ	eci- cuŋ

- 【注】1) 環日本海諸語では、“待遇法”の影響によって、本来の2人称代名詞がすべて失われた。
 2) 上代日本語の1人称 a-re/o-re は *ka-/*ko-(=*kə) の語頭子音の k- の消失形に由来する。
 3) 上代日本語の2人称 na-/ore, 朝鮮語の nə, アイヌ語の e- は、いずれも1人称からの転用。
 4) 日本語の wa-re, 朝鮮語の uri は、古い包括人称 *w- (A型) に遡る。
 5) アイヌ語の1人称 ku は動詞に接して主語, 名詞に接して所有, en は目的語人称を表す。
 これが太平洋沿岸型人称代名詞1人称 k- 形と n- 形の役割分担の本来の姿である。
 これに類似し現象は、例えばラテン語や英語の主語形 ego/I, 目的語形 me/me にも見られる。

表5 人称代名詞による世界諸言語の系統分類（アフリカの古い土着言語を除く）*1

人称代名詞のタイプ *2	該 当 言 語 群	対応する遺伝子系統	
		Y-DNA	mt-DNA
1. 出アフリカ古層A型 < n- k- t- >	ニジェル・コンゴ+アフロ・アジア諸語	E3a/b	L3(xM/N)
	南アンダマン諸語 *3	D	M2
	内陸高地系パプア諸語(サフル系) オーストラリア原住民諸語 (同上)	C2 C4	P/Q M42/Q/S
	バスク語*、ケット語*	R/Q	U(U5?)
	アメリカ東部内陸諸語 *4	Q	A/C/D
2. 出アフリカ古層B型 < k- n- t- >	シナ・チベット諸語	D/O3	A/D
	エスキモー、ナデネ諸語	C3	A/D
3. 古南アジア・スンダ型 < t- n- m- >	古南アジア諸語 *5	L/H	M2-6
	大アンダマン諸語	L/M(?)	M2/4
	北部沿岸系パプア諸語(スンダ系)	M/S	M27-29
4. カフカス型 < t- m- k-/w- (?) >	北部フカス諸語	G(?)	J/T(?)
5. ユーロ・アルタイ型 < m- t- w- (?) >	ユーロ・アルタイ諸語 *6	R1a/C3/N	H/U/D(?)
6. 太平洋沿岸型 < k-/n- m- t-/w- >	ユーラシア太平洋沿岸諸語 *7	O1/O2	B/F/M7
	アメリカ太平洋沿岸諸語 *8	Q	B/D

【注記】

- 除外されたアフリカ土着言語(多種多様な人称代名詞を含む): コイ・サン諸語、ナイル・サハラ諸語 (対応する主な遺伝子 : Y-DNA=A/B/E(xE3), mt-DNA=L0/1/2)
 - 表に挙げられた人称代名詞 : 1人称、2人称、包括人称に対応するそれぞれの基幹子音
 - 南アンダマン諸語 : オンジェ語、ジャラワ語など
 - アメリカ東部内陸諸語 : アルゴンキン、セイリッシュ、イロコイ・カド、湾岸諸語 (北米) オト・マンゲ、ケチュア、カリブ、トゥピ・ワラニ、マクロ・ジェー、パタゴニア諸語 (中南米)
 - 古南アジア諸語 : ドラヴィダ諸語、ニハーリー語*、クスンダ語*、ブルシャスキー語*
 - ユーロ・アルタイ諸語 : 南カフカス(カルトヴェリ)、インド・ヨーロッパ、ウラル・ユカギール、チュルク、モンゴル、ツングース、チュクチ・カムチャツカ諸語
 - ユーラシア太平洋沿岸諸語 : a) 太平洋沿岸北方群 = 環日本海諸語 (朝鮮語*、日本語*、アイヌ語*、ギリヤーク語*)、b) 太平洋沿岸南方群 (ミャオ・ヤオ、オーストロアジア、タイ・カダイ、オーストロネシア諸語)
 - アメリカ太平洋沿岸諸語 : ペヌーティ、ホカ、ユート・アステカ諸語 (北米)、マヤ、ミヘ・ソケ、チブチャ、アラワク、トゥカノ、パノ・タカナ、ハキ・アイマラ、アラウカノ諸語 (中南米)
- < 表および注記の中で*印の付いた言語がユーラシアの “ 系統的孤立言語 ” (その数は全部で9)

表6 ユーロ・アルタイ諸語の人称代名詞 < 具体例 >

言語名	語族	1人称単数	2人称単数	包括//1複	2人称複数
フランス語	IER	moi [mwa]	toi [twa]	nous [nu]	vous [vu]
ウドゥムルト語	URL	mon	ton	mi	ti
ユカギール語	YUK	met	tet	mit	tit
古チュルク語	TRK	men	sen	miz	siz
蒙古文語	MNG	min-	tsin	bidan//man	tan
満州語	TNG	min-	sin-	musə//mən-	suwə
チュクチ語	CH-K	[gə]-m	[gə]-t	muri	turi
古典グルジア語	KTV	me	šen	čwen	tkwen

＜東アジア諸集団の遺伝子的背景＞

表7 東北アジア・シベリア諸集団のY染色体遺伝子系統

	集団名	数	C	N	O1	O2	O3
モンゴル	外モンゴル	65	53.8	10.8	-	1.5	9.2
	ブリヤート	50	38.0	30.0	-	-	16.0
	内モンゴル	45	46.7	13.3	-	2.2	28.9
ツングース	ヘジエ(赫哲)	45	28.9	20.0	-	6.6	44.4
	オロチョン	31	61.3	6.5	-	-	29.0
	エヴェンキ	95	68.4	20.0	-	-	-
	ヤクート/Trk	155	3.2	88.4	-	-	-
	コリヤーク/Ch-K	27	59.2	22.2	-	-	-
	チュクチ/Ch-K	24	4.2	58.3	-	-	-

表8 漢語系諸集団のY染色体遺伝子系統

	集団名	数	C	D	O1	O2a	O3d	O3e	O3*
			M130	M174	M119	M95	M7	M134	M122*
北方集団	甘肅	60	11.7	8.3	8.3	1.7	-	18.3	18.3
	陝西	90	2.2	3.3	2.2	1.1	-	33.3	23.3
	河北/南	64	3.1	-	7.8	-	-	26.6	29.7
	山東	185	9.7	1.6	3.2	1.1	-	22.7	36.8
南方集団	江蘇	100	6.0	5.0	18.0	4.0	2.0	19.0	25.0
	浙江	106	9.4	-	27.4	4.7	-	26.4	24.5
	上海	55	7.3	3.6	25.5	-	2.0	16.4	25.5
	四川	63	4.8	1.6	7.9	12.7	3.2	28.6	25.4
	広東	64	4.7	1.6	7.8	18.8	-	29.7	23.4

表9 チベット・ビルマ系集団のY染色体遺伝子系統

	集団名	数	C	D	O1	O2a	O3d	O3e	O3*
青蔵高原	チベット1	92	14.1	22.8	1.1	-	/	14.1	5.4
	チベット2	121	5.0	46.3	-	0.8	/	33.1	2.5
	チベット3	76	1.3	39.5	-	2.6	/	32.9	9.2
雲南	プミ(普米)	47	6.4	72.3	4.3	-	/	6.4	2.1
	ベー(白)	61	8.2	6.6	4.9	11.5	/	34.4	16.4
	リス	49	-	-	-	8.2	/	61.2	4.1
北東インド	アパタニ	33	-	3.0	-	-	-	81.8	-
	アディ	55	-	1.8	-	-	-	85.5	3.6
	ニシ	51	-	-	-	-	-	94.1	-
	ナガ	34	2.9	-	-	-	-	76.5	-

【注】チベット1 = アムド方言、チベット2 = 中央方言、チベット3 = カム方言

表 10 環日本海域（日本列島、朝鮮半島、満州）のY染色体遺伝子系統

集団名	数	C1	C3	D*	D2	N	O1	O2a	O2b	O3e	O3*
日本 1	165	2.3	3.0	-	38.8	-	3.4	0.8	33.5	7.6	8.4
日本 2	259	5.4	3.1	2.3	32.5	1.2	-	1.9	29.7	10.4	9.7
朝鮮 1	317	0.3	8.8	0.3	3.7	3.5	4.1	1.1	29.2	27.3	17.2
朝鮮 2	506	0.2	12.3	-	1.6	4.6	2.2	1.0	31.4	44.3	
満州 1	48	-	20.8	2.1	-	2.1	-	2.1	27.0	41.7	
満州 2	101	-	16.8	-	-	-	3.0	-	33.7	42.6	

表 11 太平洋沿岸南方群 1（オーストロ・ミャオ系）のY染色体遺伝子系統

集団名	数	C	D	O*	O1	O2a	O3d	O3e	O3*
ミャオ・ヤオ	875	5.9	3.1	9.0	4.9	15.4	8.1	17.4	15.0
モン・クメール	869	2.0	2.1	6.2	0.8	54.2	11.1	6.8	7.9
ムンダ	532	-	-	-	-	70.3	-	-	-
ニコバル	11	-	-	-	-	100	-	-	-

表 12 太平洋沿岸南方群 2a（オーストロ・タイ系）のY染色体遺伝子系統

集団名	数	C	D	O1	O2a	O3d	O3e	O3*
タイ・カダイ	882	3.6	4.0	14.7	29.3	0.1	8.4	7.8
台湾（高砂系）	220	0.5	-	78.6	5.5	-	4.1	7.7
フィリピン	210	7.1	-	43.3	1.4	3.8	-	1.4

表 13 太平洋沿岸南方群 2b（オーストロネシア系）のY染色体遺伝子系統

集団名	数	O1	O2a	O3d	O3e	O3*	C2	M	S
西部インドネシア	960	40.7	23.9	5.3	-	13.1	-	-	-
東部インドネシア	957	7.5	2.5	-	-	6.2	32.2	10.0	12.2
オセアニア	182	4.0	1.6	-	1.2	11.0	24.7	23.0	11.3

表 14 長江流域古人骨のY染色体遺伝子系統

	遺跡名	年代 (BC)	所属文化	数	O1	O2a	O3d	O3e	O3*	未確定
長江下流	馬橋	1900-1200	良渚文化	6	4	-	-	-	-	2
			歴史時代	3	2	-	-	-	-	1
	新地里	2300-2000	良渚文化	9	5	-	-	-	-	4
			歴史時代	4	3	-	-	-	-	1
長江中流	呉城	1500-1200	呉城文化	4	-	2	-	-	1	1
	大溪	4400-3300	大溪文化	20	-	1	5	-	1	13
			歴史時代	5	-	-	2	-	-	3
	黄河中流・陶寺	2500-1900	龍山文化	5	-	-	-	1	3	1

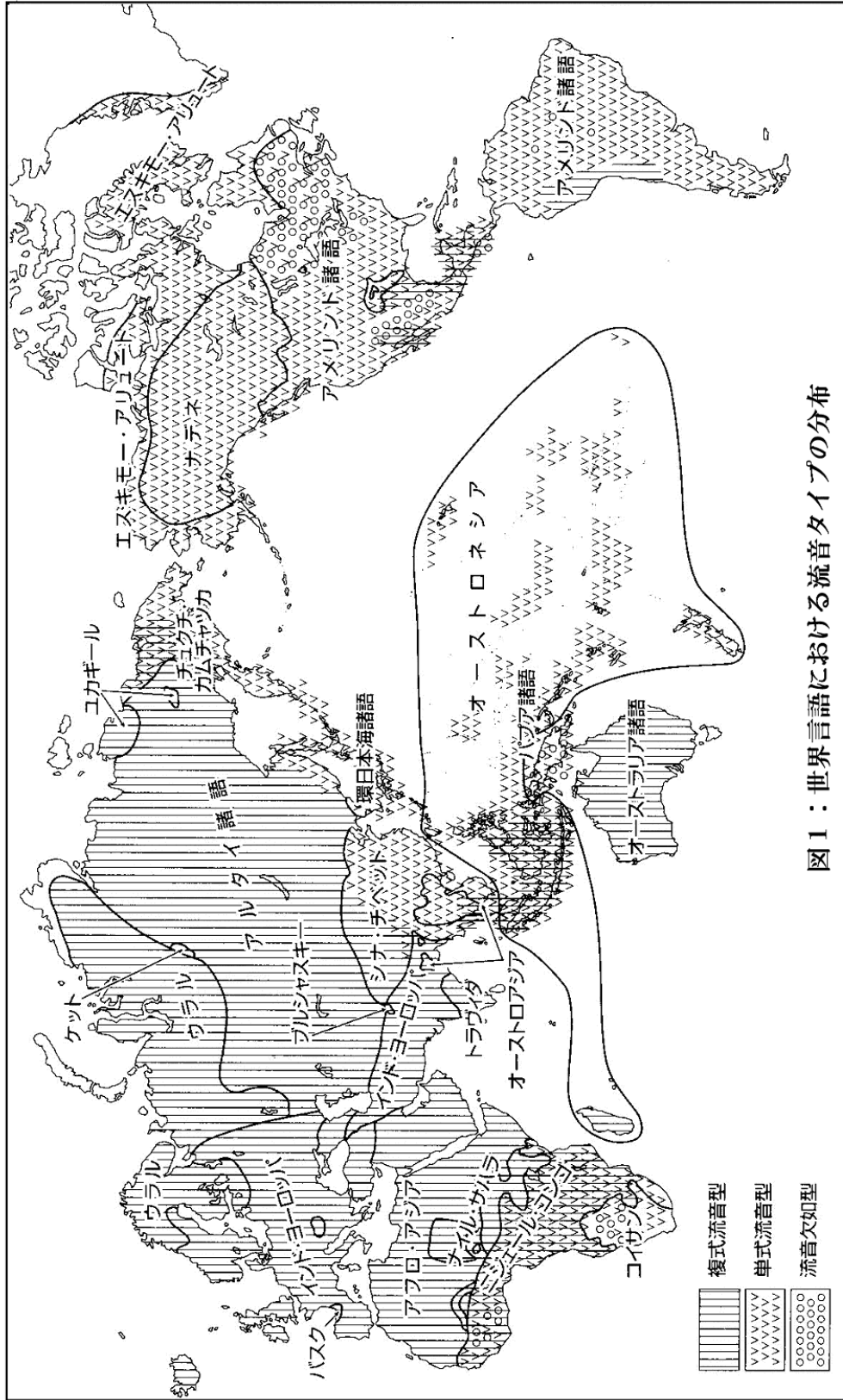


図1：世界言語における流音タイプの分布

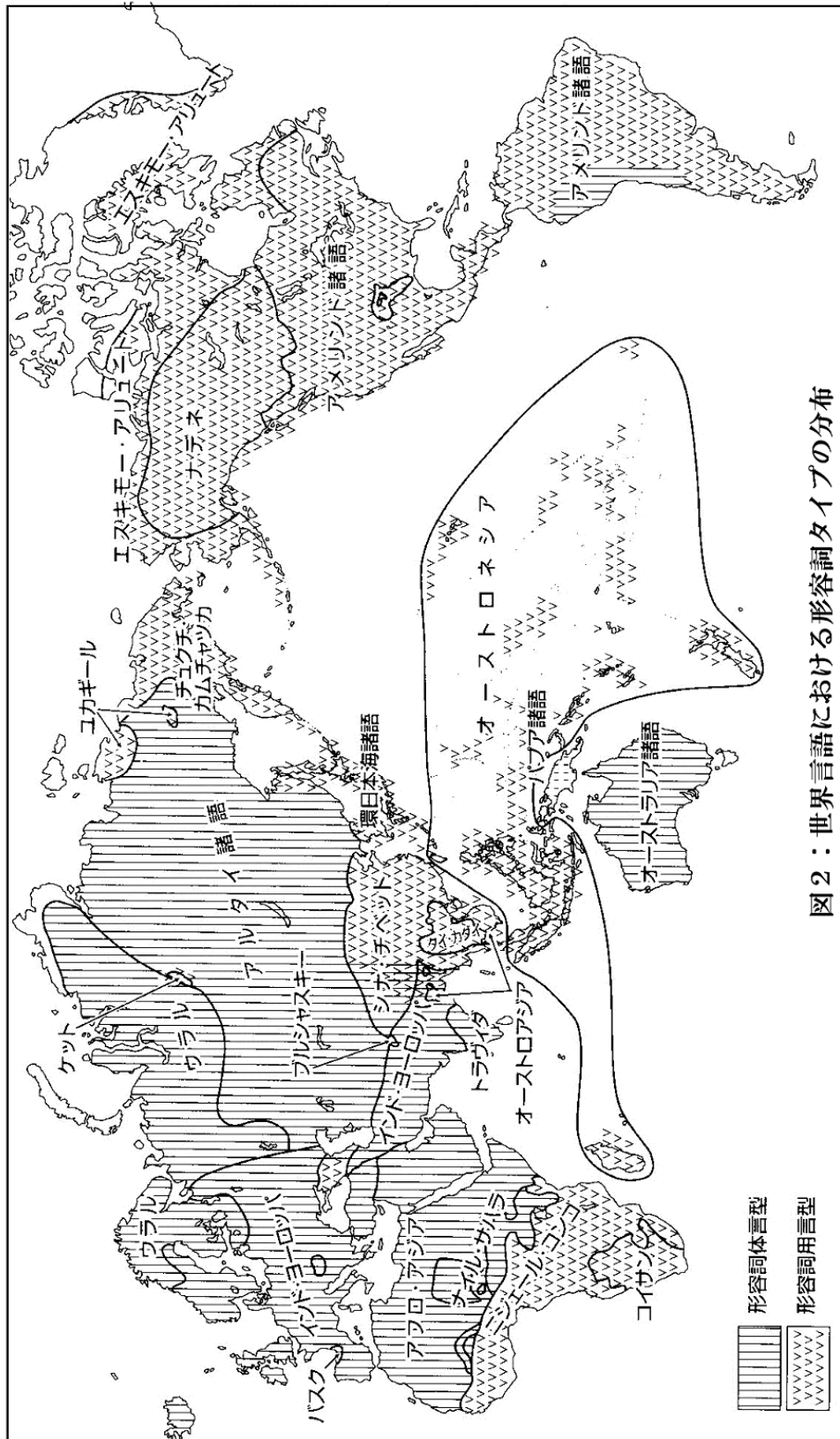


図 2：世界言語における形容詞タイプの分布

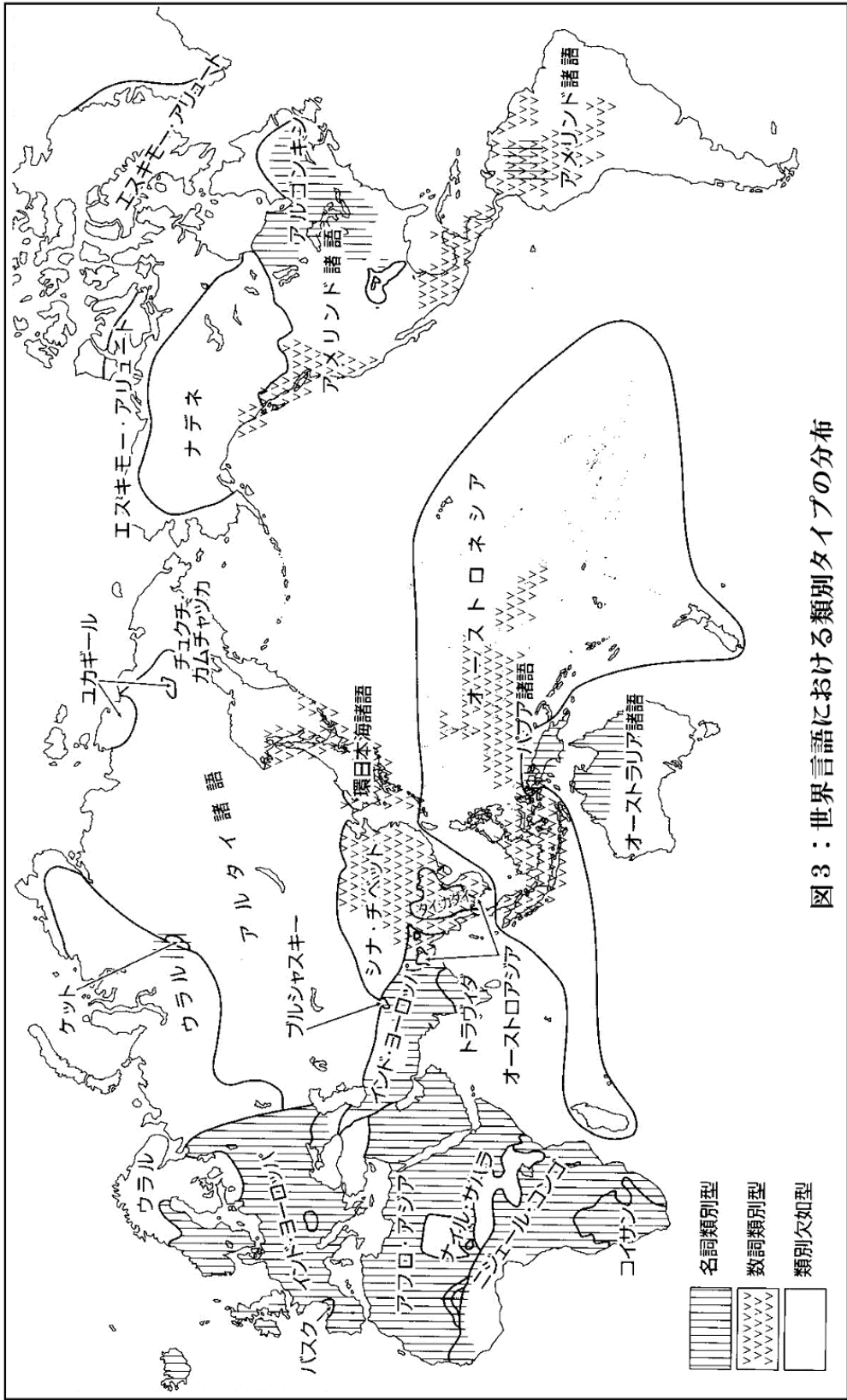


図3：世界言語における類別タイプの分布

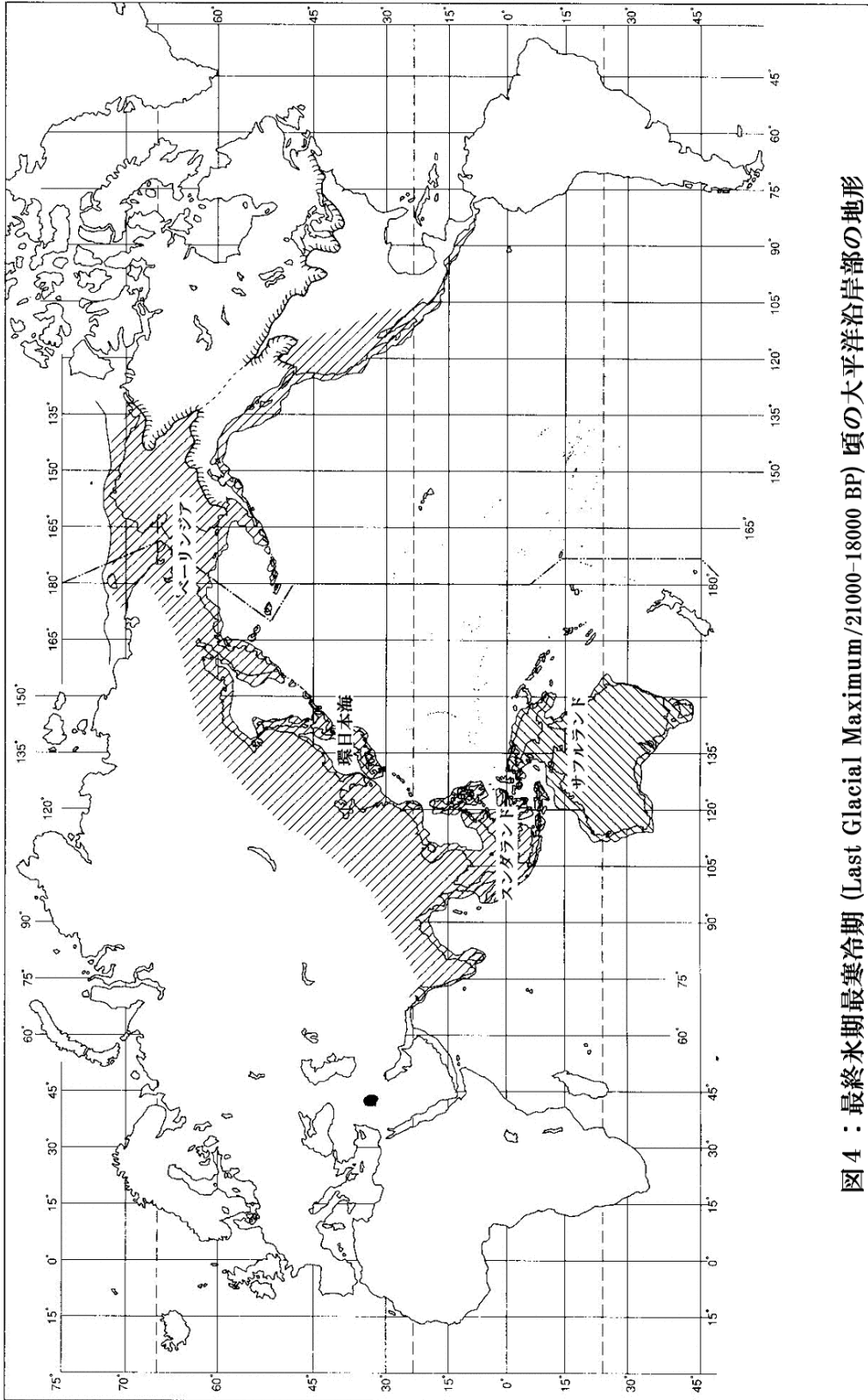


図4：最終氷期最寒冷期 (Last Glacial Maximum/21000-18000 BP) 頃の太平洋沿岸部の地形

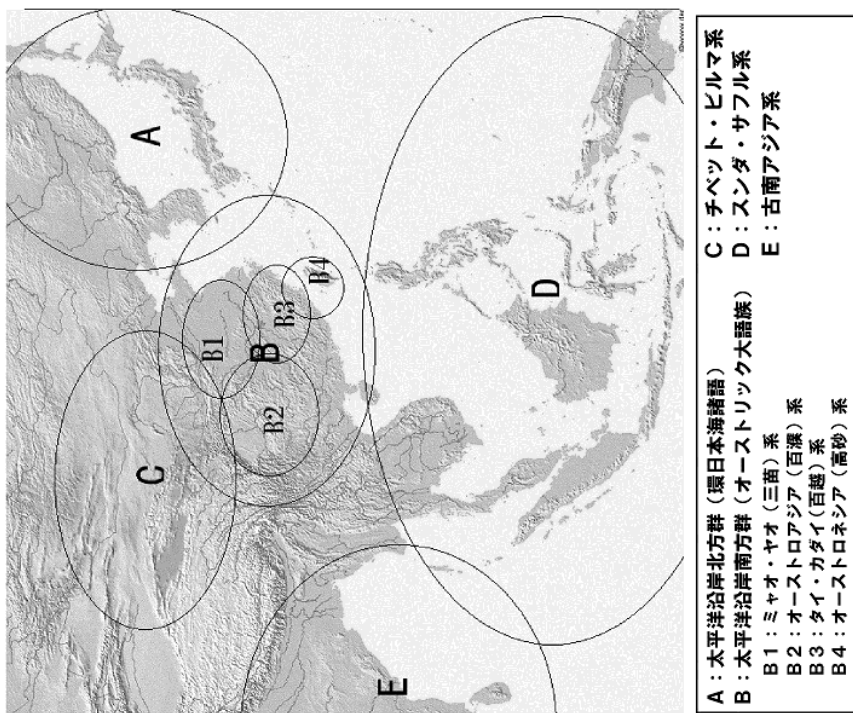
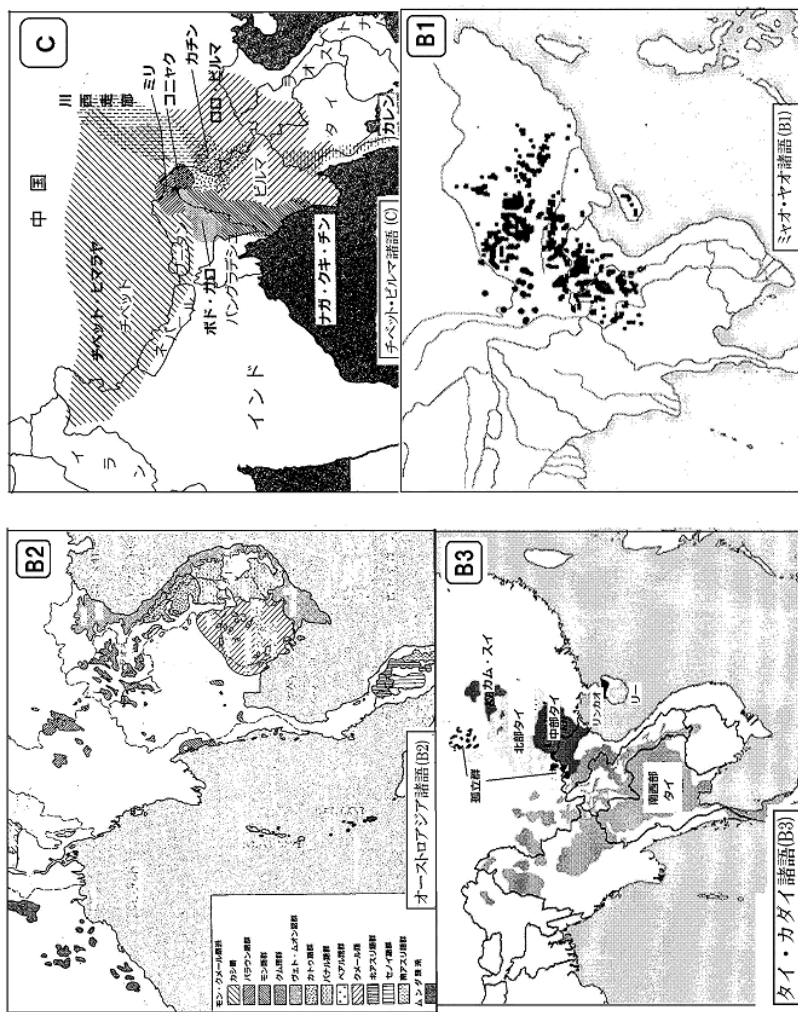


図5：今から5千年前頃の東アジアの言語分布推定図



【東南アジアへの推定移動時期】 B2=BC2500-BC500?, C=BC500?-AD1000, B3=AD700?-1400, B1=AD1800-

図6：現在のB群 (B1/B2/B3) およびC群諸言語の分布図

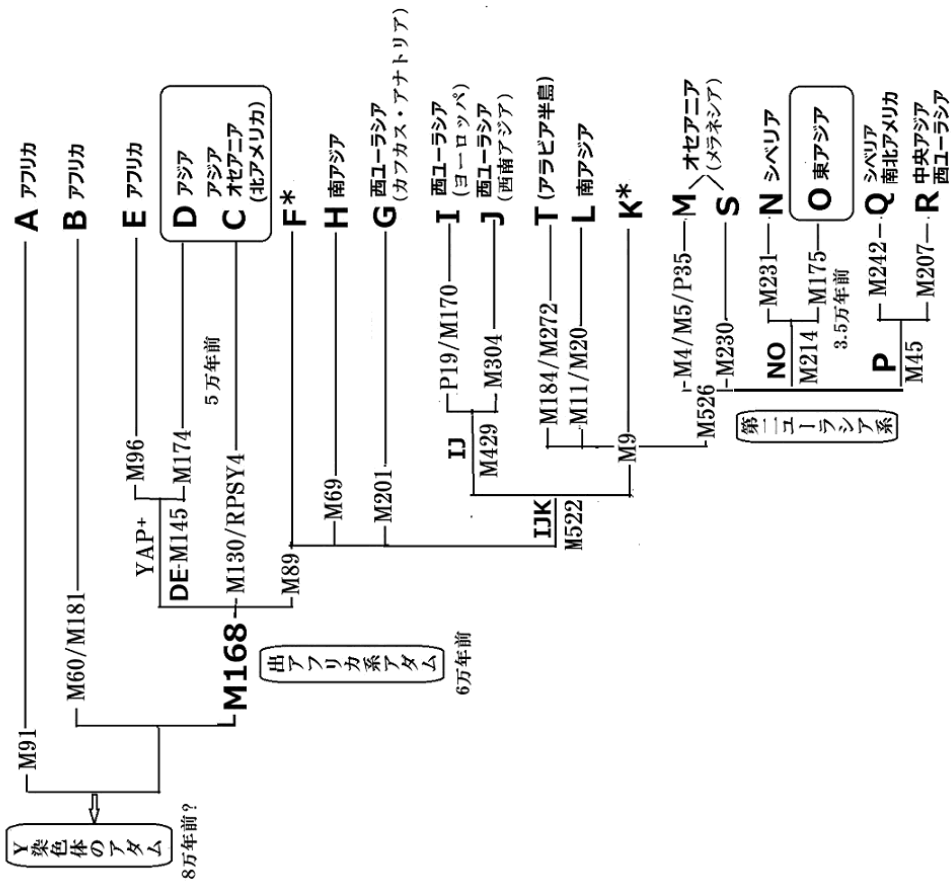


図7：Y染色体遺伝子の系統樹略図

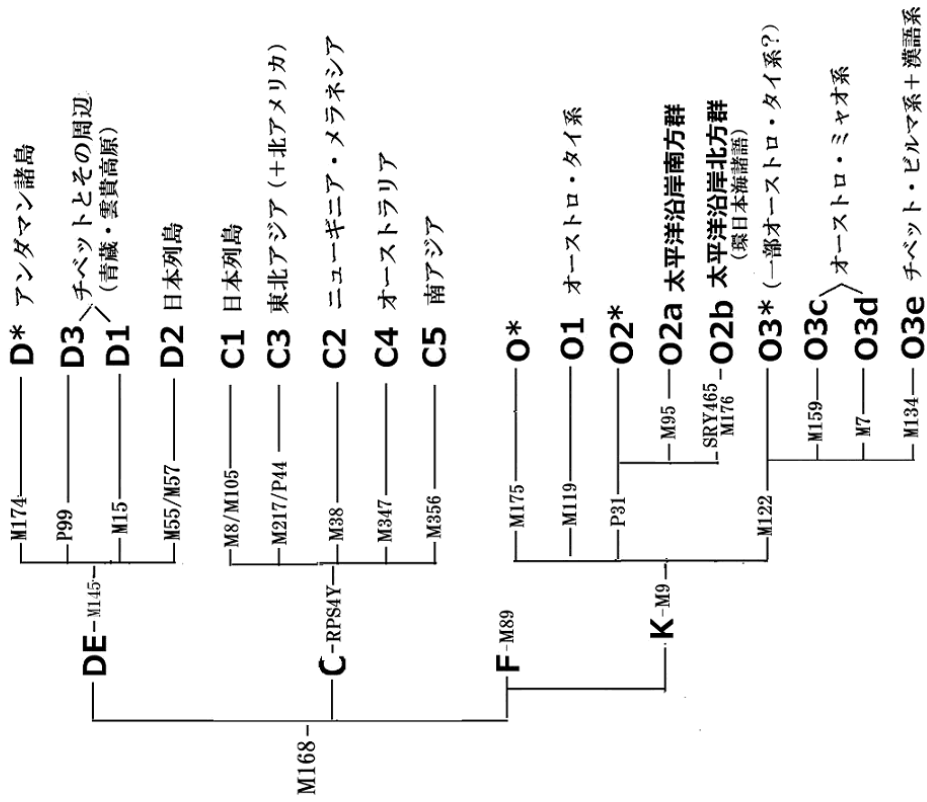
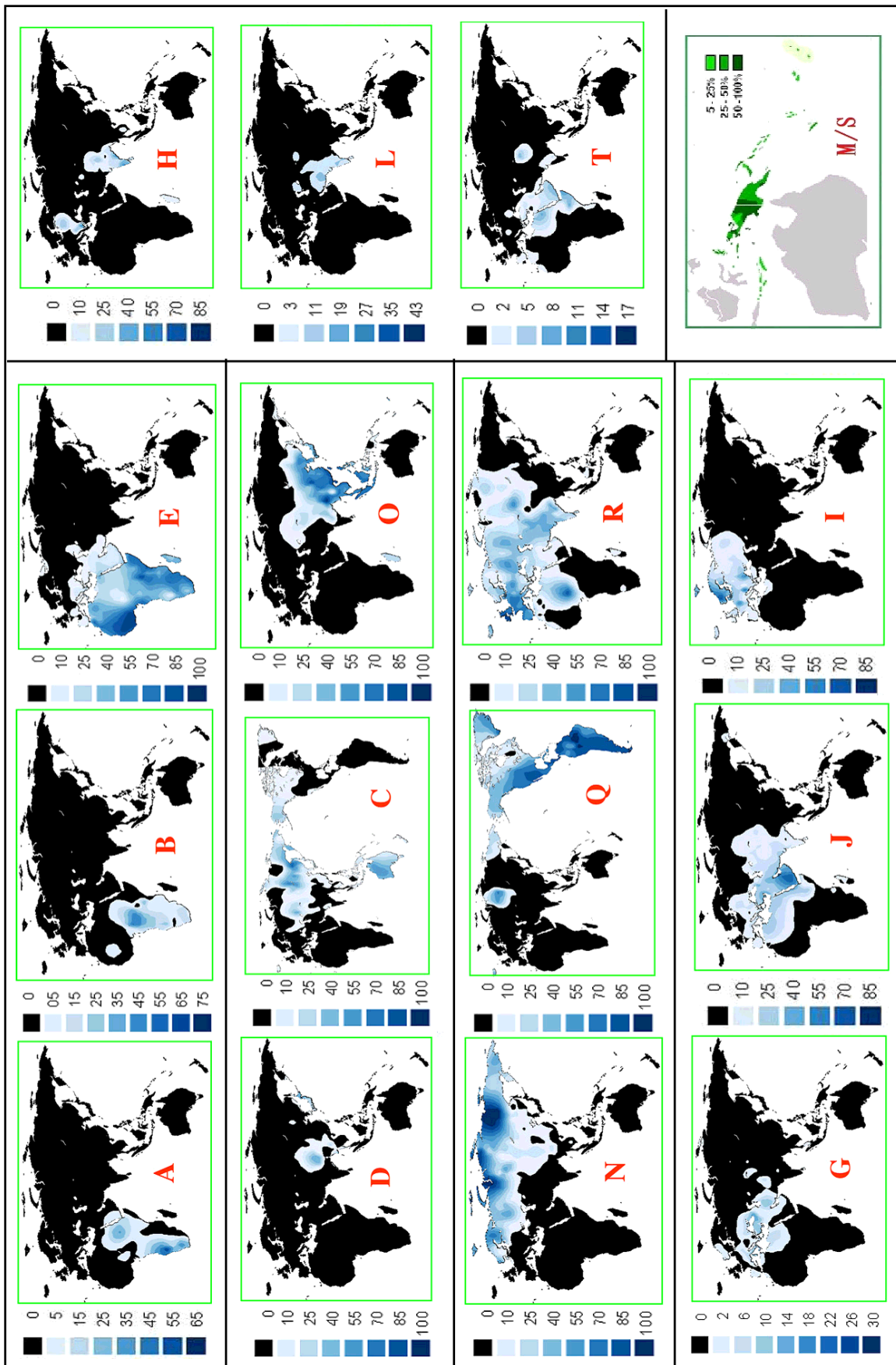


図8：Y染色体D、CおよびO系統の分岐略図



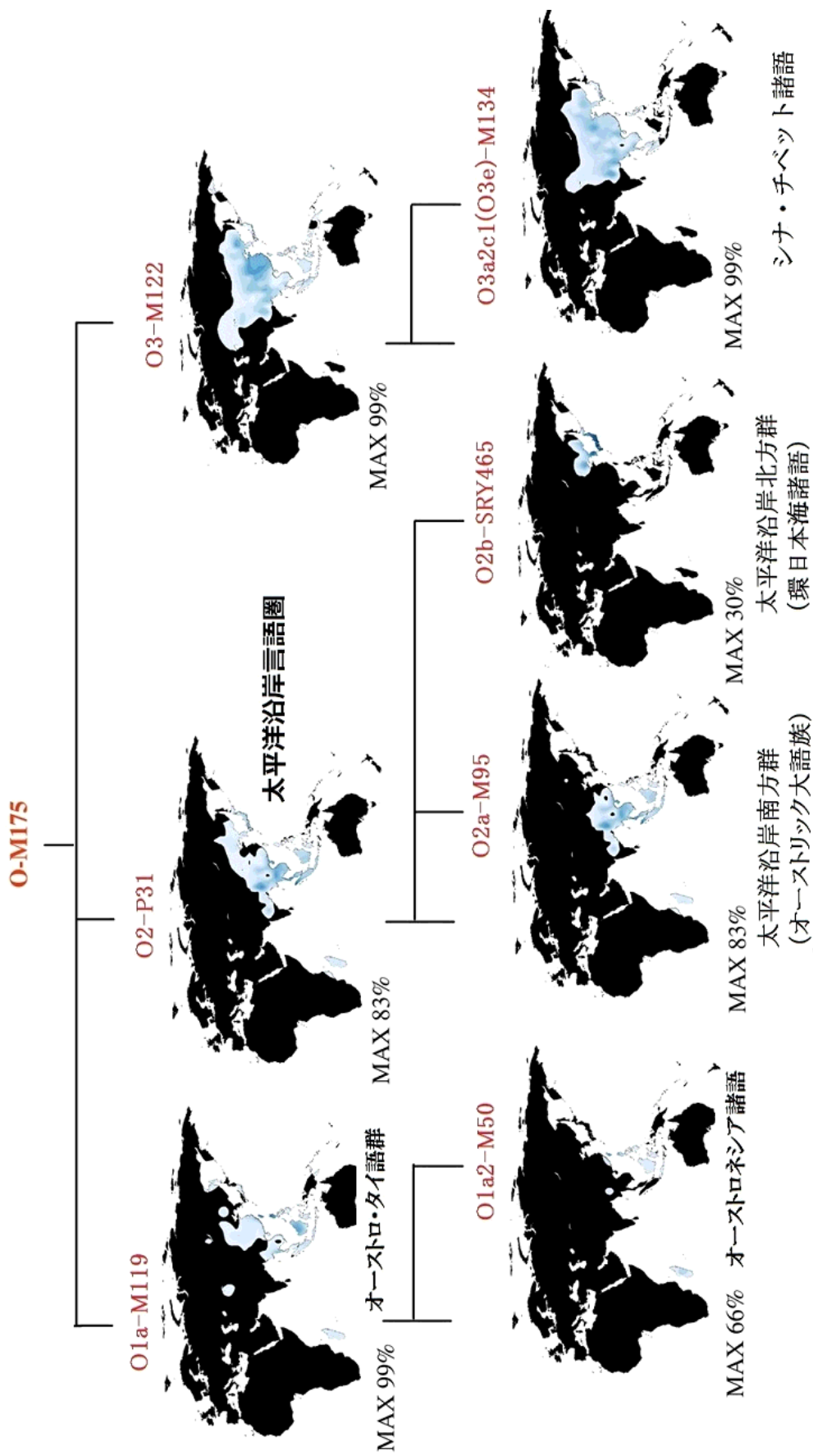


図10：Y染色体O系統と太平洋沿岸言語圏（分布図は Chiaroni et al 2009 による）